

2016 年 10 月から 2021 年 3 月の間に当院高齢診療科に

入院となった 65 歳以上の方へ

1．研究課題名

高齢入院患者における Multimorbidity（多疾患罹患状態）と退院転帰との関連についての検討

2．研究の期間

研究倫理審査委員会承認日　～　2024 年 3 月 31 日

3．研究目的および意義

加齢に伴い持病の数が増えます。2 つ以上の慢性的な疾患を持っている状態を、Multimorbidity（多疾患罹患状態）と言います。

当科に入院となった 65 歳以上の高齢の患者さんにおいて、入院時の持病の数や高齢者特有の症状の数（飲み込み機能の低下、体重の減少、認知機能の低下など）が、退院時の転帰（施設への入所や他院への転院）とどう関連するかについて検討することを目的としています。

4．研究の方法

2016 年 10 月から 2021 年 3 月の間に東京都健康長寿医療センター高齢診療科に入院となった 65 歳以上の高齢者を対象とします。電子カルテから入院時の年齢、性別、神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病、便秘、慢性疼痛、不眠、排尿障害、低栄養、嚥下障害、認知生活機能障害の有無について調査させていただきます。また、入院前から継続している内服薬の内容、入院前の食事形態（お粥、流動食など）、入院時の体格（Body mass index）、生活機能（Barthel index）、認知機能（DASC-21）、採血における腎臓の機能（推算糸球体濾過量）、入院前ならびに退院先居住場所について調査を行い、疾患の数や症状の数がどの程度になると、退院時に施設入所や他病院への転院となる可能性が高くなるかについて解析致します。

５．研究に用いる試料・情報の種類

患者さまの診療記録から、下記のデータを収集させていただきます。

年齢、性別、入院の契機となった疾患、併存疾患の有無（神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病）、老年症候群の有無（便秘、慢性疼痛、排尿障害、不眠、低栄養、摂食嚥下障害、認知生活機能）、入院前から内服している薬剤、入院前食事形態、入院前居住環境、入院時の Barthel index、DASC-21、採血項目（eGFR）、退院先居住場所

６．研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 岩切 理歌

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

研究責任者：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢診療科 岩切 理歌 電話 03-3964-1141（平日 9：00～17：00）